

第28回

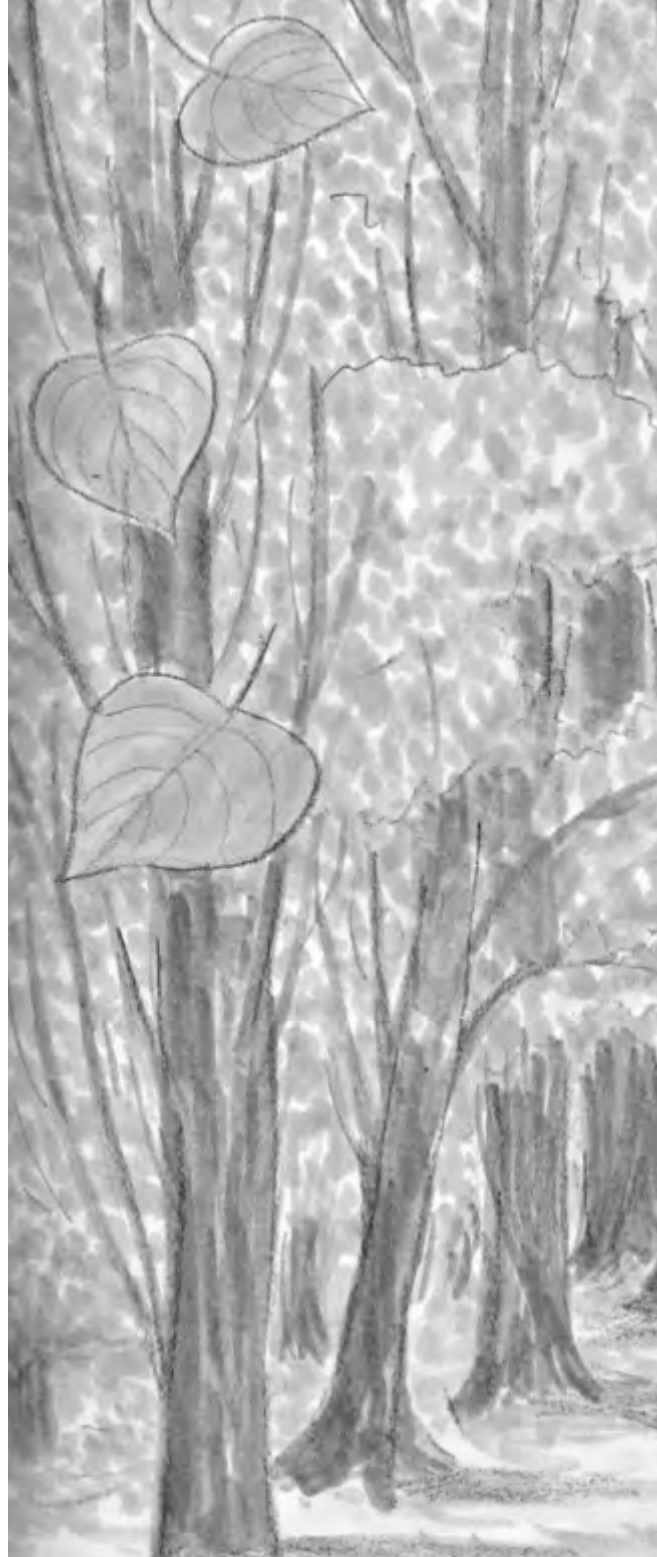
アメリカ生まれの ポプラ並木、今では すっかり道産子に

背高のつぽで、葉っぱは丸くてかわいい形のポプラの木。秋には葉が紅葉して黄色くなり、冬には全て落ちてしまうけど、春の訪れとともに若葉が芽吹く、とても馴染みのある木だ。そのポプラの木は北米やヨーロッパが原産のヤナギの仲間とある。

北海道大学のキャンパス内の有名なポプラ並木^{ひも}を紐解いてみると、北大の前身である札幌農学校の2代目校長だった森源三の息子の森廣が、1903年にアメリカから数本持ち帰り大学の農場に植えたそう。その後、1911（明治44）年にアメリカへ行く新渡戸稲造に同行した南鷹次郎が、防風林にするためにポプラを持ち帰り、それを前のポプラに並べて植えたことで、ポプラ並木となったとある。なんとポプラは明治後半になるまで、日本にはない樹木だったのだ。

明治には農地として開墾されその農地を守るため、防風林としてポプラも植林された。屯田防風林など札幌にはその名残のポプラ並木が残されている。ちなみに昨今の防風林はカラマツやトドマツなど日本の固有種が普及している。ポプラは早く成長するのだが、背が高くなりすぎて、台風に弱くまた、木質も柔らかいので防風林や木材としても使いづらいのだそう。

北海道大学のポプラ並木も何度も大きな台風の被害を受けた。伐採の危機もあったが、市民の声でそれも乗り越え、新たな敷地に平成ポプラ並木と呼ばれる2つ目の並木も造られた。天に向かってすく々とたつその姿は雄大で札幌の景色として定着し、アメリカからやってきたポプラ並木はすっかり北海道大学のシンボルになった。四季折々の姿が道産子に愛されているポプラは、この号が出る12月にはすっかり幹と枝になり、落ち葉の上に白い雪が降り積もっているだろう。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこと」。



北18条界隈には
ごはんやさん多いっす！
おいしいランチなら
ごはんやはるやんが
おすすめ！



大学のまわりには
いろんなカフェが！
おすすめは『石田
珈琲店』スイーツ
おいしいのデス☆

北海道大学
総合博物館
古代生物や植物
など学術標本が
展示されています！



ホップ並木はもう一か所
曲居場のちに平成ホップ
並木があります。